

日本テキスタイルデザイン協会



TDA NEWS
1996.8 ——— VOL.5

第2回[平成8年]通常総会開催・京都	① ②
総会記念 基調講演	② ③
分科会	③ ④
展覧会 IN 京都	⑤ ⑥ ⑦
パネルディスカッション IN KYOTO	⑧ — ⑫
素材展 東レ[株]・三菱レイヨン[株]	⑬ — ⑮
東京クリエーションフェスティバル	⑯
テキスタイルワーク展・ビワ タカシマ素材展	⑰
レポート/個展	⑱
第2回教育分科会・関西	⑲
広告	⑳

第2回[平成8年]通常総会開催 京都

発足から1年経過して

繊維産業を取り巻く厳しい環境の中にあつて、テキスタイルデザインに関連するデザイナーからプランナー、教育者、或いは業界人に至る、様々な人達が、我が国、繊維産業の活性化と生活文化創造に貢献するを目的として、結集。日本テキスタイルデザイン協会が設立されて、早1年を経過致しました。その間、多くの人達の協力と通産省関係のバックアップを得て、数多くの活動に対し、一つ一つ成果を挙げて参りました。会員各位との連携を図るため、会報の発行を始め、和歌山、桐生、尾州、金沢の各地場産業との交流並びに各種研究会、の開催、また関東ではジャパンテックス展、関西ではトータルファッション展に参画など、各地、各業界に協力致しました。中でも今年始め、ジャパンテックス展でのファッショントレンド発表の成果と東京有明のファッションタウンで行われた、東京クリエーションフェスティバルでの東京テキスタイルデザイン展(5/28~6/7)に於いて当協会の会員である米沢市の山口英夫氏が通産大臣賞を獲得された事は、当協会にとつても極めて名誉ある事と存じます。また会員名簿としてのTEXTILE DESIGN NOWも立派に完成され、国内はもとより海外へのPR活動も活発化される事でしょう。今後、繊維産業の空洞化は避けられそうもなく、海外からの輸入品増大の傾向と共に、テキスタイルデザインの価値は、従来と異なる新しい展開に発展し、生産から流通に至る共通の課題として解決せねばなりません。人材の育成を始め、ハードからソフト面での対応を強化し付加価値を高める事に注力、将来に対し、広い意味でのテキスタイル関係者に希望と期待を与える当協会の運営に対し、積極的に参画されるよう切望いたします。

理事長 上野昌男



去る6月1日第2回通常総会が午後1時15分から京都国際交流会館で開催された。当日正会員60名とオブザーバー3名委任状出席151名でもって杉山常務理事の開会宣言のもと挙行された。著名人に今野文雄、寺井洋介両氏が選出され、承認された後、上野理事長が規定により議長を務め議事進行を行った。議長の指名によって事務局から第1号議案から第5号議案まで順次説明、各議案ごとに真剣かつ公正に審議され全て満場一致で議決された。

議案内容については次の通り

第1号議案・1995年度事業報告

- ・1995年度収支決算報告
- ・会計監査報告

計画された各委員会の活動は積極的に行われセミナーや意見交換会また、会報その他の案内の配布を確実に実施、会員間及び産業界とのコミュニケーションが計れた旨報告。

収支決算においては事業や広告収入や、協会設立準備期間中の繰越金などあつて、初年度という特殊な環境にありながら、大きな問題なく全て順調に推移した。また会計監査は藤田吉之、平岡清両氏によって厳正に行われ承認を得たことを報告。

第2号議案・1996年度事業計画

- ・1996年度収支予算

各委員会ごとに見学会やセミナー、会報の発行、研究会や討論会、外部からの委託事業など初年度に劣らない盛り沢山の内容が計画され予算規模も拡大した。

第3号議案・定款改定

第4号議案・定款改定に伴う会員規定の改定及び会費規定の改定

協会の更なる発展を目指して正会員に準ずる会員資格の導入を計るについての定款変更。賛助会員の入会時期による会員の低減を行う内容を記した。

第5号議案・役員選挙に関する暫定選挙規定

協会の運営に関しては定着するまで多少不安があり、また会員間での交流、理解が充分でないこともあつて設立当初のメンバーが責任を持って運営にあたることでよりパワフルでスムーズな発展が計れる方策を考え、当面は信任投票を行うこととした。以上の内容で全て承認され1996年度の活動のスタートが切られた。また、総会終了後、吉本忍氏(国立民族学博物館助教授)の基調講演が行われ、「インドネシア=バティックとイカットにみる伝統と現代」と題してインドネシアの伝統織物が現代の生活の中でどのような状況で生かされ意味を持っているかを、氏の編集によるビデオを観賞しながら検証。ファッションデザイナーの活躍によるみごとに拡大、使用される様をつぶさに見て取れた。日本の伝統染織が和装に代表されている現状は実際的な生活とは無縁な所での存在であり、また高価に